※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 3034 |
|---|---|

# 令和８年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 日本史特講 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「日本史探究」　（実教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 「新詳日本史」　（浜島書店）　「日本史重要史料集」（浜島書店） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

テーマ史という、縦軸によって歴史を再考察することで、歴史事象への理解を深めるとともに、歴史の積み重ねとしての現代社会が成立したことを学ぶ。さらに、テーマごとに学ぶことで、社会構造の変化として歴史をとらえ、その特色をつかみ、現代社会の諸問題に対応する思考力や応用力をつける。

2　学習の到達目標

・歴史を深く理解するための基本的な知識のつながりを理解する。つながりとは単なる因果関係ととらえるにとどまらず、政治・経済・社会・文化の各歴史分野に関して縦横無尽に考察し、それに関わる地理分野・公民分野における知識をも総合して、思考することである。
・資料（史料・図・表・グラフなど）を読み取り、考察する力を身につける。
・知識や資料など複数の根拠をもとに、歴史的に物事を理解し、国際的な視野に立って客観的に判断する力を養う。
・自らの学びをもとに主体的に考察し、総合的に判断して、過去から現代社会の諸課題に気づき、よりよい社会の構築に向けて貢献できる資質を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・教科書学習によって身につけた知識を、政治・外交・経済・文化に関する諸テーマによって意義づけ、再構成することでし、より深い教養を身につけている。<br>・歴史の根拠となる資料について知識を深め、これを読み説く技能をもっている。 | ・分野別の学びを行うことで、歴史的なものの見方、考え方を深め、現代につながる課題の解決を目指す。複数の資料や知識を比較・検討して、歴史上の問題の解決について考察を深めることができた。<br>・考察の結果を、国際的な視野にたって合理的に判断し、また、その過程を記録し、様々な手法を用いて、わかりやすく表現した。 | ・１年生の歴史総合、２年生の日本史探究での学習の成果を生かし、主体的に理解を深めるよう努力している。<br>・テーマ史の視点において、興味・関心を持ったこと、疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだそうとしている。<br>・自らの学習を振り返り、学習を改善しようとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 外交史 | ①日朝関係<br>②日中関係史 | a:朝鮮・中国を中心に、前近代における日本と東アジア・東南アジア地域の交流について、理解している。<br>b:複数の資料を比較検討し、日本と東アジア・東南アジア地域の交流について、多面的・多角的に考察し、表現している。<br>c:前近代における日本の成立・発展に関する事象を国際的な視野から、主体的に追究しようとしている。 | テスト<br>プリント | テスト<br>プリント<br>ノート | 学習状況<br>レポート<br>振り返り |
| | 文化史 | ③宗教史<br>④美術史<br>⑤文学史 | a:政治的・社会的な背景のもと、時代を映す鏡として文化をとらえ、その中でも前近代における文化の基本である古代の信仰、仏教の伝来と発展、キリスト教の伝来、及びその下で形成された美術や文学などについて理解する。<br>b:複数の資料を比較検討し、前近代の文化について、多面的・多角的に考察し、表現している。<br>c:国際社会における日本人のアイデンティティーの形成に大きく関わる信仰や文化に関する事象への興味関心を高め、主体的に追究しようとしている。 | テスト<br>プリント | テスト<br>プリント<br>ノート | 学習状況<br>レポート<br>振り返り |
| 2学期 | 社会経済史 | ⑥土地制度史・農業史<br>⑦産業・交通史<br>⑧金融。貨幣史<br>⑨女性史<br>⑩社会運動史 | a:現代社会の成り立ちに至る背景として、経済面では土地制度・諸産業の発達・交通・金融などの分野、社会面では家族や女性の歴史・民衆史の視点から歴史事象を理解している。<br>b:複数の資料や図を比較検討し、社会経済史の視点から、多面的・多角的に考察し、表現している。<br>c:これからの社会の一員として社会貢献する立場であることを自覚し、過去の課題やその解決を学ぶことから、現在の社会・経済に関する課題に目を向け、主体的に追究しようとしている。 | テスト<br>プリント | テスト<br>プリント<br>ノート | 学習状況<br>レポート<br>振り返り |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 政治史・地域史 | ⑪法制史<br>⑫北海道史<br>⑬沖縄史 | a:全時代を通じて、地域史に着目しつつ、政治が社会・経済・文化に与えた影響を考慮し、理解するように努めている。<br>b:複数の資料を比較検討し、中央政府と地域の交流について、多面的・多角的に考察し、表現している。<br>c:地域の視点から日本の政治を振り返り、他分野との関連にも着目して、主体的に追究しようとしている。 | テスト<br>プリント | テスト<br>プリント<br>ノート | 学習状況<br>レポート<br>振り返り |
| ３学期 | 国際関係史 | ⑭外国貿易史<br>⑮日米関係史 | a:近代以降における、日本と世界の関わりを、アジア諸地域と欧米諸国を中心に、帝国主義の発展や産業革命の進展から、二つの世界大戦及びその後現在に至るまでのグローバルな歴史という視点にたって理解した。<br>b:近代以降に関して、複数の資料を比較検討し、多面的・多角的に考察し、表現している。<br>c:国際社会の一員であることを自覚し、近代・現代の国際関係の歴史について、課題やその解決を学び、主体的に追究しようとしている。 | テスト<br>プリント | テスト<br>プリント<br>ノート | 学習状況<br>レポート<br>振り返り |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度